



テックジム FC説明会

プログラミング スクール運営 のススメ

ZOOMネームは「お名前@拠点予定地」をお願いします。

プログラミング学習の背景

■2030年には80万人のプログラマーが不足

■2020年から2024年にかけて

小学生のプログラミング科目の必須化、翌年に中学、

その翌年は高校でも必須化、2024年に大学入試に科目として追加

→キッズ向けプログラミングスクールはすでに4000校を超える

→3年以内に、小学生637万人、中学生325万人、高校生322万人、

合計1284万人がプログラミングの授業を受ける

→大学生（270万人）では、文系・理系とわず、機械学習のニーズ

→1554万人の中から80万人を生み出せば良いことになる。

**プログラマー自体の人数は充足するが、
周辺人材は不足したまま。**

テックジムをはじめるきっかけ

■共同創業者・中村がやっていた勉強会がヒント

- 毎週土曜日に開催
- 一人一人にお題を出す
- 3ヶ月後には現場の仕事にジョイン

→彼らは無料でお金を儲けるスキルを得ていた。

**既存のプログラミング塾が
3ヶ月で60万円以上とるのはおかしい。
→もっと長期かつ安価であるべき**

全国展開を急いだきっかけ

■Python講座に当初予想しなかった層が集まった

- エンジニアではないけどプログラミングを嗜んでおきたい
 - なんとなくやってみたいシニア層
 - 子供がやるので自分もやっておきたい親、先生
 - 研究室でいきなり使うことになったという学生
 - スクラッチでは物足りないという中学生 などなど。
- 転職目的の方が10%未満だった。

**全国ではどんな状況なのか、
2019年は1年かけて50都市で
Python講座を開催。**

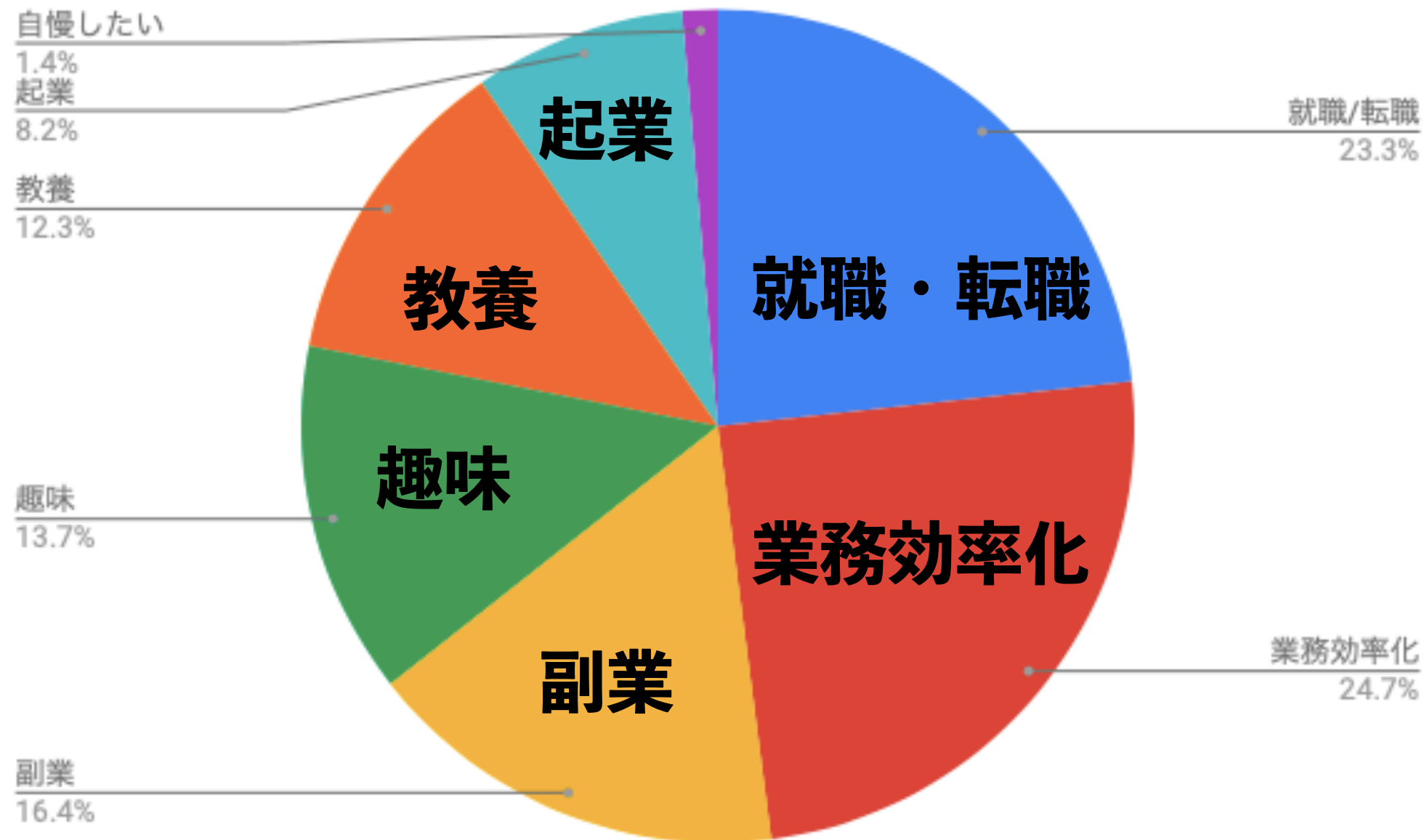
全国のPython学習ニーズ（2019年）

1位：東京：108名	25位：青森：8名
2位：大阪：70名	25位：大分：8名
3位：福岡：53名	25位：太田：8名
4位：京都：35名	25位：長崎：8名
5位：名古屋：33名	25位：熊本：8名
6位：札幌：22名	25位：金沢：8名
7位：高松：20名	25位：山口：8名
8位：横浜：19名	32位：新潟：7名
9位：松山：18名	32位：水戸：7名
10位：富山：16名	32位：甲府：7名
11位：徳島：15名	32位：宇都宮：7名
11位：浜松：15名	36位：佐賀：6名
11位：神戸：15名	37位：高崎：5名
11位：岡山：15名	37位：姫路：5名
15位：出雲：13名	39位：鳥取：4名
16位：酒田：12名	39位：宮崎：4名
16位：仙台：12名	39位：岐阜：4名
18位：広島：11名	42位：盛岡：3名
18位：尾道：11名	42位：秋田：3名
18位：別府：11名	42位：千葉：3名
18位：郡山：11名	42位：大宮：3名
22位：鹿児島：9名	42位：高知：3名
22位：津：9名	42位：和歌山：3名
22位：福井：8名	48位：奈良：3名
	49位：長野：2名
	50位：近江八幡：1名

参考）SEOページのアクセス比率

1位	東京都	100
2位	愛知県	73
3位	大阪府	72
4位	神奈川県	62
5位	宮城県	52
6位	福岡県	49
7位	大分県	47
8位	静岡県	46
9位	群馬県	41
10位	北海道	36
	長野県	31
	長崎県	31
	山形県	26
	石川県	25
	福島県	20
	福井県	20
	山梨県	19
	佐賀県	18
	宮崎県	17
	青森県	13

プログラミング学習の目的



逆に言えば、目的は適時変えられる

→フレキシブルに変更できるカリキュラムが求められている

会員の声によりコースを追加

【初学者向け】

Python基礎コース

プログラミングの基礎を学びます。
就職できるレベルに達するには500時間の履修が必要だと言われており、テックジムでは200時間でそのスキルレベルに達することができます。

【現役エンジニア向け】

AIエンジニア養成コース

数学の素養がなくても取り組み、
機械学習やディープラーニングを
効率よく習得します。
現場に役立つテーマを揃えております。

【副業向け】

Ruby on Railsコース

クラウドソーシングサービスで、
よく見受けられるWEB開発案件を想定。
学んだことがすぐにお小遣いになります。

【業務改善向け】

Google Apps Scriptコース

日々のルーティンワークを自動化したり
業務効率をあげるツールを作ることを
目的としたコースです。

コロナ以降のトレンド

- ・ コロナ禍によるDXニーズの顕在化
- ・ 転職型プログラミングスクールがシュリンク傾向に
 - 転職保証型ビジネスの崩壊
 - 社会人の「転職以外」のニーズが高まっている

テックジムでは無料講座の一般参加者が1万人を突破

**エンジニア転職希望の2万人ではなく、
プログラミングスキルを活かしたい
社会人1000万人を狙うべき**

ここまでのまとめ

- ・ 自習型こそ安価で効率学習ができる（中村塾）
- ・ Python人気は全国に広がっている（全国行脚）
- ・ 転職目的は少なく、それ以外の目的が9割（会員層）
- ・ 転職目的型プログラミング塾は既に斜陽（コロナ）
- ・ 目的は常に変化する（コース追加）

どんな方にFCをお願いしたいか？

- ・ 地域でIT人材を育て地場のIT産業を生み出したい
- ・ 受験構造や学歴社会に違和感がある
- ・ 東京に搾取される構造や競争社会に違和感がある
- ・ 地域ナンバーワンのIT人材コミュニティを持ちたい
- ・ 自学自習こそが上達の早道であるという持論がある

どんな方が教室運営に向いているか

- ・面倒見がいい方
- ・第一印象のいい方
- ・主体的に動く方
- ・ルールやマニュアルをきちんと理解している方
→共有しているノウハウを使えば数字はあがる
- ・ルールを守りつつ独自の自由な発想で動く方
→教室特性があるので臨機応変な対応が必要

テックジムの特徴

- ・ 授業なし。教科書なし。演習が中心の効率学習
- ・ 会員が自律型の人材が多く結果を出しやすい
- ・ 「自走できるエンジニア」を生み出す仕組みがある
- ・ 質問に答える形なので、いわゆる講師スキルが不要である
→ 現役・元エンジニアであればOK
- ・ テックジムがITに明るいビジネスコミュニティとなる

**< ミッション > どこに住んでいても
安価に最新のプログラミング技術を
学べる環境を提供する。**

テックジムの強み

■他スクールとの比較

- 高価（60万円前後） → 月額2万円
- 転職がゴール → それ以外もサポート
- 期間が決まっている → 定額制

■競合スクールが参入できない理由

- エンジニアの独立手段としてテックジムは容易に開校できる
- 既存高額塾では低単価のコースを新設することが困難

■テックジムがFC展開しやすい理由

- 貸し会議室や空スペースでできる
- 自習型なので講師が不要
- 技術的な質問は東京本校スタッフでも対応できる

テックジム参画メリット

前提：既にオフィスをもっているIT企業の場合

- ベース収入の確保
- 空き時間・空きスペース・空きリソースを利益に
- 受講生からリクルーティング
- 全国のテックジムネットワーク（ノウハウ共有・案件紹介など）

**これから独立を考えているエンジニアにとっては
テックジムは負担がなく収益を支えるベースに。**

ミニマムスタートプラン

**貸し会議室利用で週2開催。（2h/1回）
エンジニアのトレーナー1名。**

【グラさんの実績】

1年目の売上：845万円（月平均70万円）

15ヶ月目の売上：月売上145万円

教室運営以外にやっていること

- チラシくばり
- 掲示板告知
- WEBカウンセリング
- オンライン無料講座
- 体験入学（教室運営中）

オープン講座のエントリー数

■ 2019年：全てリアルイベント
115回開催：3452名（@30名）

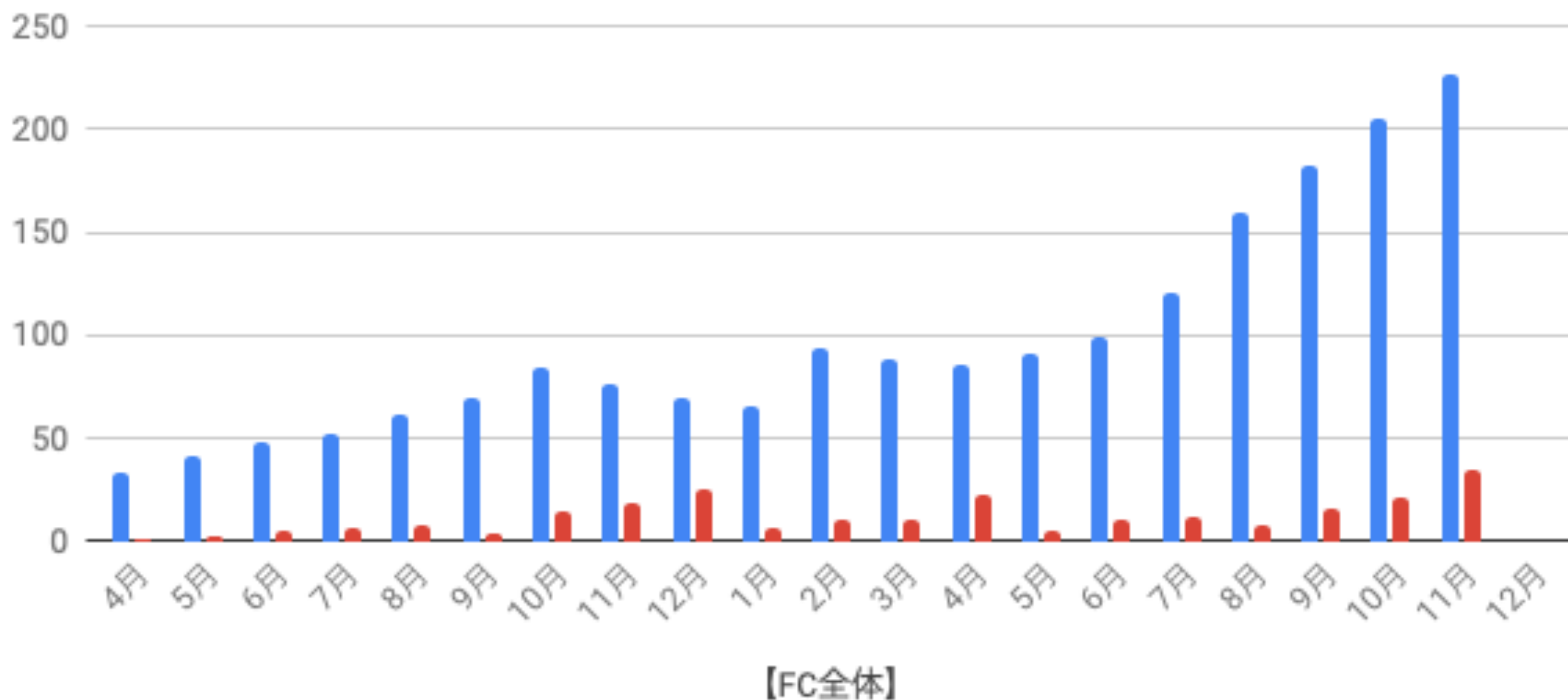
■ 2020年：4月よりオンライン開催
178回開催：4981名（@28名）

エントリー者にはフォロワー通知機能があり、
定期的にご案内を送ることができる。

会員推移

アクティブ会員数 と 休会者数

■ アクティブ会員数 ■ 休会者数





techgym